

EARTHECO
MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にあ
アース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

「乳母日傘(おんばひがさ)」という言葉があります。小さい子どもを育てるときに乳母(今で言うベビーシッター)
を付けたり、外出の際には日傘を差し掛けて強い日差しから守ったりして、過保護に育てる意味です。近年、夏の
暑い時期に日傘を使うことが若い女性を中心に広がり、最近では若い男性の間にも「日傘男子」が増えていると
報じられ、「へえ～」と思ったことがあります。今年は私と同年配の高齢者にも日傘を持ち歩く人を見かけるよう
になり、驚きました。これも今年の暑さを象徴するものなのか、適切な適応策の広がりなのかと考えてしまいます。



エコ工作教室、横浜市長津田地区センター

7月28日(日)、横浜市長津田地区センターの「小学生お楽しみ教室 夏のわんぱくホリデー」の一つとして、「地
球温暖化防止 エコ工作教室～LEDが光るスカイツリーを作ろう！～」の教室を開催しました。参加者したのは小
学生12名とその保護者3名、講師・スタッフは6名でした。

横浜は連日の猛暑日です。教室の開始は午後1時で、準備のために12時に会場入りしましたが、最寄り駅から
会場に向かって歩く道すがら、「こんな日に教室を開催しても良いのか？」と考えてしまいました。参加児童は保
護者が運転する車で来る子どもも多いと思いますが、中には自宅や最寄り駅から徒歩や自転車で来る児童もい
ると思います。地球温暖化の対策(緩和策)として省エネ実践を呼びかけることは大事ですが、このように猛暑日
が連続する時期には熱中症対策など(適応策)を学ぶことも重要ではないかと思えます。エアコンが入った教室に
集まって地球温暖化について学び、工作を楽しむことがクールシェアに繋がっていると良いのですが。

教室では、挨拶のあとにビデオを見て地球温暖化について学び、次に手回し発電機による発電体験、照明電力
比較、ドライヤーの消費電力の3つの省エネ実験を体験しました。続いて省エネチェックシートに記入して省エネチ
ャレンジ目標を決め、最後はスカイツリー工作です。

工作の時間は40分と短めでしたが、高学年の児童が多かったことと、低学年の子どもは保護者と一緒に工作
に取り組んでもらったので工作は順調に進み、予定の時間内に全員完成することができました。



手回し発電機による発電体験



スカイツリーの工作に取り組む

教室の最後に書いてもらった感想文では、高学年の児童が多かったためか、工作よりも省エネに関して感想を書いていた児童が多く、保護者の方からも「省エネについて学べて良かった。」との感想をいただきました。

長津田地区センターでは毎年この教室を開催していますが、一度参加した教室に翌年も参加する児童は希で、参加者の顔ぶれが毎年変わるのが普通ですが、今回は、昨年も参加した児童がいました。特に電子回路に興味をもって調べたようで、細かいことをいろいろと聞いてきたので驚きました。これがきっかけで将来エンジニアに成長してくれると嬉しいです。

[桑原]



夏休み環境学校、エコパークさがみはら

8月4日(日)、エコパークさがみはら(相模原市立環境情報センター)で「親子で省エネ！スカイツリーを作ってLEDでライトアップ」を開催しました。参加者は小学生児童12名とその保護者・同伴者17名の計29名、講師とスタッフは5名でした。

挨拶の後、ビデオを見て地球温暖化について学び、続いて手回し発電機による発電体験、白熱電球とLEDランプの消費電力比較、ドライバー消費電力測定の3つの省エネ実験を体験しました。省エネ実験には保護者の皆さんも一緒に体験してもらいました。次に、省エネチェックシートに記入して省エネ目標を決めました。夏休み中の4週間、児童の皆さんにはお家の人と一緒に省エネ目標に取り組むようお願いし、その結果を記録するための省エネカレンダーを渡しました。



参加した児童の皆さんと保護者・同伴者の皆さん

休憩の後、スカイツリー工作を行いました。児童の皆さんは保護者の皆さんと力を合わせて工作を進め、スカイツリーを完成させ、LED が点滅するスカイツリーと一緒に記念写真を撮っていました。最後に児童の皆さん一人ひとりに終了証を手渡しました。



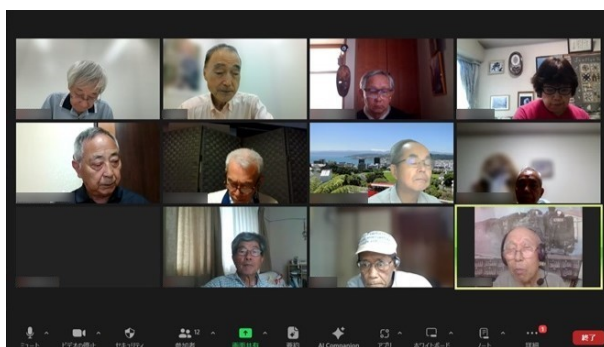
スカイツリーが完成

今回は、参加児童の大半が低学年の小学生だったことと、保護者や一緒に来た未就学の児童などの同伴の方が参加児童より多かったことが特徴です。地球温暖化や省エネの話は低学年の皆さんには少し難しいため、保護者の皆さんにも良く勉強していただき、お家に帰った後で子どもたちと一緒に復習してもらうように、冒頭の挨拶の中でもお願いしました。最近のアース・エコの活動では講演会などの機会が減り、大人を対象とした活動が少なくなったため、今回のように親子で参加する教室は、保護者の皆さんにとっても地球温暖化や省エネについて学ぶ良い機会となったと思います。 [桑原]



7月理事会・例会・合同勉強会を開催

7月24日(水)、7月理事会・例会・合同勉強会をオンライン(Zoom)主体+会議室(ユニコムプラザさがみはら)で開催しました。参加者はアース・エコ会員が10名、オブザーバー5名の計15名でした。



例会・合同勉強会に参加した皆さん

7月理事会からの報告

特にお知らせすることはありませんでした。

協議事項は、引き続き電子メールの交換により協議、承認を行います。

7月例会

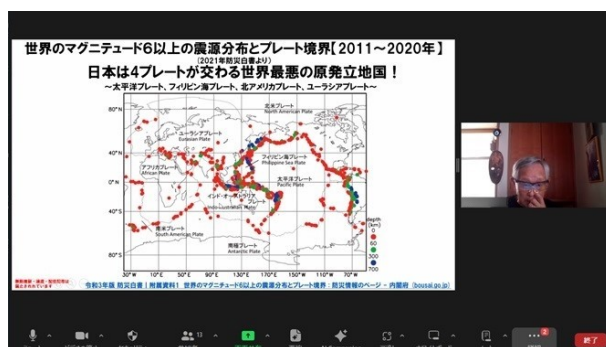
- 7～8月に実施予定の工作教室3件と9月に実施が決まった出前授業1件について、参加者の調整等を行いました。そのほか12月以降に実施予定の5件の出前授業の計画を紹介しました。
- 6月に前出授業を実施した小学校の省エネカレンダーを集計した結果を報告し、結果報告ビデオを紹介しました。
- 今年度から小学校教員の「働き方改革」の試行が始まっており、いろいろな学校での様々な取り組みの状況などについて情報交換しました。6時間目まである日を週2日に減らしたり、授業時間を短縮したりするなど、出前授業に影響するものもあるため、今後も注目していきます。

合同勉強会

地震と原発

出前授業や講演で原子力発電を取り上げる場合、そのメリットとリスクについて「公平」な立場での発言が求められるため、この問題を取り上げるのを避ける傾向があります。そうしたことを踏まえ、各国の原発の状況について、会員から発表がありました。

まず、ヨーロッパを中心に各国の発電における原子力の割合と、地震との関係において各国の原発の立地条件の説明がありました。更に、フィンランドにおける使用済核燃料処理について説明があり、ヨーロッパと比較して日本の現状についても説明がありました。



「地震と原発」について発表する会員

これからの活動予定

- ◇ 8月9日(金) 夏休みこども環境体験学習、大磯町郷土資料館
 - ◇ 9月24日(火)、27日(金) かながわ環境教室⑥、大和市内の小学校
- これらの予定は変更になる場合があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

8月例会・合同勉強会

8月28日(水)に会議室(かながわ県民センター)主体+オンラインでの開催を予定しています。開催の詳細、オンラインでの参加方法等は会員の皆様には後日メールでお知らせします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学できます。

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡は

メール earth.eco.jimukyoku@gmail.com

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

ホームページ



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方 **私たちと一緒に活動しませんか？**